

様式第3

一般粉じん発生施設設置(使用、変更)届出書

①設置届の場合は、(使用、変更)の文字を抹消すること。
使用又は変更の場合は該当する文字を○で囲む。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

大分市長 〇〇 〇〇 殿

届出者 大分市 〇 〇 〇 〇 〇
株式会社 〇 〇 〇 〇
代表取締役 〇 〇 〇 〇
電話 0 9 7 (5 1 2) 3 4 5 6

②一般粉じん発生施設を設置しようとする工場又は事業場ではなく、本社又は本店等の住所(電話番号も記す。)を記入する。

大気汚染防止法第18条第1項(第18条第3項、第18条の2第1項)の届出書
ん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社〇〇〇〇 大分工場	※年	〇 〇 〇 〇 〇	③一般粉じん発生施設の設置される又は設置されているビル名、支店名、工場名等を記入する。
工場又は事業場の所在地	大分市〇〇〇 1丁目2番3号	※受理年月日	〇 〇 〇 〇 〇	④③の住所を記入する。
一般粉じん発生施設の種類	2：堆積場	※施設番号		
一般粉じん発生施設の構造並びに使用及び管理の方法	別紙1から別紙4のとおり。	※審査結果		⑤届出施設の種類に応じてそれぞれ別紙に記入し、添付する。
		※備考		

- 備考 1 一般粉じん発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第2に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるよう
に変更の前後を対照させて記入する。

一般粉じん発生施設(コークス炉)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		○○○	
名称及び型式		△△△	
設置年月日		年 月 日	
着手予定年月日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	
規模	原料の処理能力(t/日)		
	炉室数		
	炭化時間(h)		
装炭作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式		
	集じん機効率(%)		
	送風機の原動機出力(kW)		
窯出し作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式		
	集じん機効率(%)		
	送風機の原動機出力(kW)		
消火作業	一般粉じんの処理装置の種類・型式		
参考事項			

②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときに、既に設置の工事をしている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「使用開始予定年月日」も同様である。

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 参考事項の欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

一般粉じん発生施設(堆積場)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1		
名称及び型式		第1堆積場		
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日				
使用開始予定年月日				
規模	面積(m ²)	2,000		
	堆積能力(t)	10,000		
堆積物の種類、性状及び通常の間延べ堆積量(t/年)		オイルコークス 12万t		
使用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要			
	散水	装置の種類・型式・基数	スプリンクラー 10基	
		装置の能力(m ³ /h)	3m ³ /h×1基	
		散水の方法	常時散水	
	防じんカバーの設置状況			
	薬液 散布	薬液の種類・名称		
		装置の種類・型式・基数		
		装置の能力(m ³ /h)		
		散布の方法		
	締固め その他	装置の種類・型式		
方 法				
方 法				

②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときに、既に設置の工事をしている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「使用開始予定年月日」も同様である。

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 堆積物の種類、性状及び通常の間延べ堆積量の欄には比重、粒度、水分値の概数及び通常の間延べ堆積量について記載すること。
- 3 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量(たとえば散水の場合は水量L/t)、実施頻度等を記載すること。
- 4 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 5 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの飛散防止のための装置の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

一般粉じん発生施設(コンベア)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		SP-1	
名称及び型式		石灰石用ベルトコンベア	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日			
使用開始予定年月日		○	
規 模	ベルト幅(cm)又はバケツト内容積(m ³)	120	
	単基の長さ(m)×基数	280m×1基	
	ベルト又はバケツトの速度(m/分)	80	
	運搬能力(t/h)	800	
運搬物の種類、性状及び通常の間月間運搬量(t/h)		160,000	
使 用 及 び 管 理 の 方 法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		
	集 じん 機	集じん機の種類・型式	バグフィルター
		集じん機効率(%)	99.9
		送風機の原動機出力(kW)	15
	散 水	装置の種類・型式	
		装置の能力(m ³ /h)	
		運搬量当たり散水量(l/t)	
防じんカバーの設置状況	発じん部へ完備する		
その他	方 法		

②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときに、既に設置の工事をしている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「使用開始予定年月日」も同様である。

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

①変更届の場合には、変更の内容が明らかになるように変更の前後を対照させて記入する。

一般粉じん発生施設(破碎機、摩砕機、ふるい)の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 11		
名称及び型式		クラッシャー ○○○型		
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		○	②設置届又は変更届の場合に記入する。届出が遅れ、この届出をするときに、既に設置の工事をしている場合には、「着手年月日」と読み替えて記入する。「使用開始予定年月日」も同様である。	
使用開始予定年月日		○		
規 模	原動機の定格出力(kW)	75		
	処理能力(t/h)	80		
処理対象物の種類及び通常の月間処理量(通常) (t/月)		砂利 7,500		
使用 及 び 管 理 の 方 法	破碎機、摩砕機又はふるいがその中に設置されている建築物の概要			
	集 じん 機	集じん機の種類・型式	○○社製○○型	
		集じん機効率(%)	95	
		送風機の原動機出力(kW)	15	
	散 水	装置の種類・型式		
		装置の能力(m ³ /h)		
		処理量当たり散水量(l/t)		
	防じんカバーの設置状況			
	その他	方 法		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 一般粉じん発生施設及び一般粉じんの処理又は防止のための装置(フードを含む。)の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。